

F-15が宇部空港に飛来？ 国が特定利用空港に指定

8月29日、山口宇部空港が「特定利用空港」に指定された、と山口県庁から発表がありました。この指定により自衛隊や海上保安庁の航空機が山口宇部空港を平素から円滑に利用できるようになります。特定利用空港・港湾は全国で14空港、26港湾が指定、中国地方の空港では山口宇部空港のみです。年に数回の訓練が想定されています。

指定の背景には、我が国周辺の安全保障環境等を考慮して指定されたものと思われます。山口県近傍の災害派遣はもとより、緊張が徐々に緊張が高まっている台湾や南西諸島有事の際、自衛隊や海上保安庁がスムーズに利用できるよう、平素から訓練等で使用するものです。

想定される機種はC-130等の輸送機が主体になると思いますが、有事を想定した場合はF-15やF-2、KC767空中給油機などの航空機が利用するほか、海上自衛隊の航空機も利用すると思います。

宇部市の南方には空自の築城基地が所在し、訓練やスクランブル等で飛行するF-15を見上げれた方もいらっしゃると思います。今後は高高度で飛行する訳ではなく離発着のため、音だけで機体を見逃して悔しい思いをされた方も間近で見られ、空自ファンは期待が高まるのではないのでしょうか？



山口宇部空港（西側から撮影）



空自の戦闘機F-15



空中給油機 KC767

こんな所に自衛隊の動画？ 医大前で放映中

会員の皆様は、街なかの大型看板が各所の交差点で見られていると思います。宇部市中心部でも国道や県道を問わず主要幹線道路のあちこちで、意識せずとも目の中に入ってきます。

そんな中、医大前の看板群に自衛官募集の動画が放映されていることをご存じでしょうか？ 右の写真は、その瞬間の写真です。放映時間は30秒程度、自衛隊の訓練の様子や女性自衛官を前面に出した動画です。元来、陸幕で作成した動画で、本来音声がある筈ですが、看板の動画では音声は聞こえませんでした。

ところで、我が国周辺の安全保障環境は年々複雑化、広域化、遷延化しており、それに伴い自衛隊の存在価値(存在意義)も高まっています。一方、1971(昭和46)年～1974(昭和49)年に生まれた第2次ベビーブーム以降、我が国の出生数は年々減少しています。特にコロナ後の昨年の出生者数は過去最低で、70万人を割り込みました(右表参照)。とは言っても、自衛隊の根幹をなすものは、今も隊員に変わりはありません。会員の皆様におかれましても、適齢者の情報提供をお願い申し上げます。因みに、この動画は令和7年10月31日まで放映されています。是非一度、ご覧になってください。



10月末まで
放映中

